

# 目標分野 3

すべての子どもが  
暴力や搾取から守られること



SDGs（持続可能な開発目標）に基づき、子どもたちを暴力から守るという約束が表明されているにもかかわらず、子どもたちは家庭、学校、コミュニティ、オンラインで今もなお、暴力に直面しています。

2019年までの10年は極めて深刻でした。紛争下で子どもたちに対する重大な違反行為が17万件以上確認されています。

子どもたちを暴力や搾取から守るために、ユニセフは150カ国以上で活動し、約7億800万米ドルを支出しました。

この目標分野における2019年の主要な資金パートナーは、ドイツ、オランダ、欧州委員会、スウェーデン、国連共同プログラムです。



17歳のマシュー君は、南スーダンの自宅から武装グループに拉致され、2年間拘束されました。その後ユニセフの支援で正式に解放され、社会復帰に向けて服や日用品の入ったパッケージを受け取り、農業研修を受けました。

また、ケースワーカーにも任命されました。彼自身が普通の生活に戻る際に、心理社会的な支援、指導をしてくれたのがケースワーカーでした。2019年、ユニセフは19カ国で、過去数年間に武装グループを離れた1万4,400人以上の子どもたちに社会復帰のためのケアとサービスを提供しました。

© UNICEF/UN0272647/Holt

子どもの保護のために  
ユニセフが最初に  
取り組んだのは、  
出生登録の促進でした。  
出生登録は、子どもの  
権利と安全を守るために  
不可欠なものです。

## 成果

2019年、ユニセフが支援した出生登録数は、2018年と比べて35%増加しました。ユニセフは現在、行動を加速させるために優先順位の高い13カ国を支援しています。これらの国々が、世界の出生登録されていない子どもの3人に1人以上を占めています。

ユニセフは、学校とその周辺で起きている子どもへの暴力撲滅のための国際的なプログラム「安全・安心な学校づくり」(Safe to Learn)を通じて活動しています。また、24カ国が実施する、オンラインでの子どもの性的搾取撲滅を目指したWeProtectの「ナショナル・モデル・レスポンス」(National Model Response)の導入を支援しました。ユニセフは、暴力を経験した子どもたちへ保健、ソーシャルワークもしくは司法、法執行サービスを届け、その件数は2018年と比べて、全体で17%増加しました。

2019年には、緊急事態下にある74カ国で、数百万人の子どもたちに保護サービスを提供しました。地雷やその他の爆発兵器の被害を受けた22カ国で、437万人以上の子どもたちに、被害防止と生存者の支援を行いました。また、人道危機下において搾取や虐待から子どもたちを守るための取り組みは、2018年の16カ国から増加し、2019年には32カ国で展開しました。全体として、2019年には、890万人以上のおとなと子どもが、性的搾取と虐待を通報する手段を利用できるようになり、2018年と比べて27%増加しました。

ユニセフは、2019年に128カ国に対し、子どもたちの司法へのアクセスを改善するための様々な支援を実施しました。障がいのある子どもたちを含め、親のケアが受けられない子どもの権利を守るユニセフの活動は、家族の分離を防ぎ、養護施設で暮らす子どもをなくすことを目指した画期的な国連決議によって後押しされました。

さらに、15万8,000人以上の女の子と女性が女性性器切除(FGM)の防止と保護サービスを受けました。また、570万人以上の10代の女の子たちに、児童婚の防止とケアの支援を提供しました。

## 展望

ユニセフの子どもの保護分野の支援は何百万人も子どもたちに行き渡りました。しかしやるべきことはまだ多くあります。

この前進を加速させるために、ユニセフは、子どもへの暴力を防止し、対応するシステムを強化して、子どもたちが司法へのアクセスを確保できるよう取り組んでいきます。また、子どもへの様々な形の暴力の原因となっている有害な慣習を変え、性差別を含む社会的規範に対処していく手段として、行動変容プログラムと効果測定、地域コミュニティへの働きかけを重点的に行っていきます。

右：17歳のリマ・ベラさんは若い活動家で、インド、西ベンガル州フーグリー県タラケシュワルのナムガルにある彼女自身のコミュニティで、児童婚の防止に尽力しています。

© UNICEF/UN0331595/Das



## 主要な成果

出生登録された子どもの数が、47カ国で2,100万人を超えました。

緊急事態下に置かれた370万人の子どもたちが、**それぞれのコミュニティでメンタルヘルスケアと心理社会的支援**を受けました。

76カ国において、170万人の移民・難民、国内避難民の子どもたちが**保護サービス**を受けました。

緊急事態下に置かれた330万人の女性、女の子および男の子に対し、**ジェンダーに基づく暴力のリスク軽減、防止または対応のための取り組み**を行いました。この活動には、メンタルヘルスケア、心理社会的支援および「子どもにやさしい空間」づくりも含まれます。

ユニセフと欧州連合 (EU) は、**児童労働、ジェンダーの平等、家族と離ればなれになった子どもたち、いじめに焦点を当てた「リアルチャレンジ」(#RealChallenge)** という TikTok のキャンペーンを開始。41カ国で3億回再生され、5万1,000件のコンテンツが作成され、120万シェアを達成しました。